



広報 利尻

人口と世帯数

世帯数 1.622

人口 8.218

男 4.160

女 4.058

昭和44年2月28日現在

臨時号 4, 1969

No. 16号

すこやかに育てよう



春の日ざしをいっぱいにあびて
遊具に興じる園児たち

とじて保存しましょう。いつか役に立ちます



本年度の行政執行方針要旨

《定例第一回》
《会期八日間》

ことし第一回の定例町議会は、三月二十日招集され、同
日午前十時より本会議を開会、まず会期を八日間と決定し
たあと、町長の行政執行方針、教育長の教育行政執行方針
の説明があり、またこれに対する一般質問や昭和四十四年
度一般会計予算のほか関連する議案二〇件を審議し、いず
れも原案どおり可決、三月二十七日閉会されました。

昭和四十四年度の町長の
行政執行方針は三月の定例
町議会で一時間半

にわたり、町政全
般に対する説明が
あった。
その要旨は次のと
おりであります。

第一 総務・財政 関係

1 財政健全化に
ついては国の硬
直下にあつて困
難を予想される

が消費的経費の
節減を図り、可
及的住民の福利
増進のための経
費に充て、財源
の確保に努め、
歳入欠陥を出さ

町政執行方針を説
明する小田桐町長

ないよう従来どおり健全財政を
貫く。

2 清掃事業及び歯科診療施設特
別会計はこれを廃止する。

3 町有財産の管理を適正化し、
不要の財産は売却し、必要ある
ものは買取り公共の用に供し
たい。

4 服務規律を厳正にし、機構の
改革を行つて住民へのサービス
に努め「正しく・早く・親切」
をモットーに行政事務の民主化
に努める。

第二 建設関係

1 港湾・漁港の早期完成に努め
基幹産業の基盤整備を図る。

幸いにして国の深い理解によ
り第四次計画に各港とも大きく
取り上げられた。

2 道々利尻島線の整備について
は四十四年度において
○泉町を 六六〇メートル舗装
○神磯・長浜間を二二〇〇メー
トル舗装(若干変更を見込ま
れるが……)

○営林署担当区前から高校前ま

て一匹(C)ノートカ改良
○蘭泊地区の事前調査、仙法志
政治地区の舗装など。
○町道については仙法志・鬼脇
線を前年に引続き、一、七〇
〇万円を投じて改良するほか
舗装、側溝、修繕など重要度
や破損度を考えて実施する。

第三 産業・経済関係

1 利尻町産業振興計画の策定
完了につき、これを産業振興の
根幹としてあらゆる事業を推進
してゆく考えである。
長期展望に立って計画したが、
時勢の進運、変転がはげしいの
で四十四年度〜四十七年度まで
とした。

2 水産業には最も重点をおいた
が、本年度においては特に漁業
協同組合の事業に対する援助に
重点をおき、従来の養殖事業、
増殖事業のほか、
○買船資金に対する利子補給
○磯掃除
○トド退治

○改良底建漁業 二カ統
町では日出町、杏形港、新湊
などの船揚場や、背後地を整備
し、漁場造成事業をも実施する
将来に向つては加工技術セン
ター(仮称)仙法志漁組の荷捌
所又は冷蔵庫を設置し、流通の
合理化、魚価安定対策など具体
化とその実現を図る。

3 農畜産業については宗谷農業
の長期展望に合わせ、利礼を含
めた天北の草地改良の線に乗
せ、将来は肉資源の基地として
山麓の原野を開発したい。
副業として椎茸・なめこの食
菌植物を奨励する。

4 村業については竹の子道路を
開設し、漁家林の造成を奨励
し、林道の開設、治山治水事業
を起し、緑化と、災害の防止
に努める。
5 商工業・観光事業にも従来と
違った方策を樹ててその振興を
図りたい。

第四 文教・厚生関係

1 杏形小学校の第二期工事を早
期に施行し、九月中旬に完成させ
たい。
2 教育環境を整備する。
3 清掃事業の広域処理を図る。
4 環境の美化運動をすすめる。
5 消防施設の整備と、その体制
の確立を図る。

6 社会福祉の向上と老人対策。
7 医療体制の確立強化。
そのほか、砕石事業の運営の健
全化を図り、特に島外移出に努め
水源調査により良質の飲料水を確
保することになっている。

今年が開基七十年であり、先人
の功績をたたえ、現実を直視し、
将来の繁栄を目ざして栄光への第
一步を踏み出す意義ある年でもあ
るので、過去を反省し、改めるべ
きは改め、誠心誠意、ひたすら住
民の福利増進を念じて自らの姿勢
を正し、住民の信頼にこたえ、良
き奉仕者としての責任を完うすべ
く覚悟を新たにしている。

過疎地帯の住民に望むことは、
お互いに助け合い、睦み合い、温
め合つて共存共栄の実をあげ、郷
土に住むことの幸をみんなて享受
出来るようにしたいものである。

新年度予算決る 総額 四億五千四百 五十八万九千円

—前年度より八・九%の増—

昭和四十四年度本町各会計予算及び昭和四十三年各会計補正予算は、三月二十日開会の定例第一回町議会に提案され、それぞれ慎重な審議により、各会計とも原案どおり可決成り立いたしました。

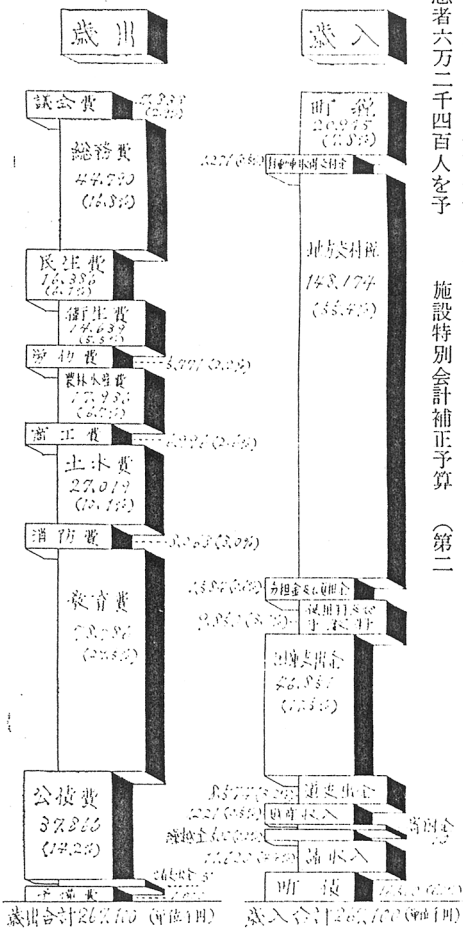
なおこのたび可決された予算は次のとおりです。

▼昭和四十四年度利尻町一般会計予算

本年度の一般会計当初予算は、才入才出それぞれ二億六千七百一十萬円で、前年度に比し、四千三百五十八万四千円の増となっております。出面では、昨年度から継続して工事が実施される第二期香形小学校建設費（五千百万円）に大きなウエートがかかり、性質別に分けると人件費二四・八%、物件費一六・八%、維持補修費一・〇%、扶助費、補助費六・〇%、事業費三五・四%、公債費一四・二%、その他一・八%となっております。

また才入の面では、次の図表でわかるとおり、自主財源が極めて

◆昭和44年度 一般会計当初予算の構成



▼昭和四十四年度利尻町国民健康保険施設事業会計予算
財政再建四年目をむかえた本年度は年間入院患者一万四千七百七十八人、外来患者六万二千四百人を予定し、不良債務五百三十四万八千円を解消する予定です。

▼昭和四十三年度利尻町清掃事業特別会計補正予算（第二号）
▼昭和四十三年度利尻町国民健康保険施設事業会計補正予算（第二号）

乏しく、町税はわずか七・八%（二〇九四五千円）で依然として依存財源の多い予算になっており、今後才入の増加と、消費的経費の節減に努めながら産業の振興と、住民福祉の向上を計り、健全均衡財政を貫いて参らなければなりません。

▼昭和四十四年度利尻町砕石事業会計予算
本年度の砕石事業会計は、生産量二万八千七百立方丈、販売量二万九千二百立方丈、利益剰余金百三十万六千円を予定しています。

▼昭和四十四年度利尻町国民健康保険特別会計予算
本年度の国民健康保険特別会計当初予算は才入才出五千七百七十六万三千円で前年の当初予算に比し九百六十七万七千円の増となっております。

昭和44年度各会計総括表 (単位千円)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計	267,100	223,516	43,584
特別会計	51,763	42,596	9,167
国民健康保険	—	14,235	△14,235
歯科診療所	—	3,870	△3,870
清掃事業	—	—	—
国民健康保険	89,379	73,953	9,426
施設事業会計	52,347	48,930	3,417
砕石事業会計	—	—	—
合計	454,589	407,100	47,489

▼昭和四十三年度利尻町砕石事業会計補正予算（第一号）

火災から命を守ろう

- 就寝前、外出時の火の元点検は完全に。
- 旅館・ホテルの避難口、避難経路は事前によく調べよう。
- 車両火災を防止し、安全な輸送を確保しよう。



春の全道火災予防運動（4月20日～5月19日）

利尻町漁業振興促進条例など

九条例案可決

定例第一回利尻町議会で、次の条例案が上程審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

▼手数料徴収条例の一部を改正する条例案
住民登録法が廃止になり、住民基本台帳法が制定されたことに伴い、住民基本台帳写の交付手数料を一枚につき五〇円と定め四月一日から施行されます。

▼利尻町国民健康保険条例の一部を改正する条例案
道の指導により、現行の条例を整備した。

▼清掃事業特別会計条例等を廃止する条例案
昭和四十四年度から一般会計に吸収したため、

この条例を廃止した。

▼利尻町職員の特殊勤務手当に関する条例案
現行の条例を整備し、職員の特殊勤務手当の適正化をはかった。

▼利尻町財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例案
この条例は利尻町財政の健全な運営に資するために設置されたもので、基金として積立てる額は、一般会計才入才出予算で定める額とし、災害により生じた経費の財源、又は、災害により生じた減収をうめるための財源等に充てるときこの全部又は一部を処分することができる。

▼利尻町国民年金印紙調達基金条例案
国民年金印紙の購入並びに売捌きに関する事務を円滑に実施するために設置された。

▼利尻町畜産振興融資条例案
この条例は、本町農漁家経済の安定と畜産振興に資するため、必要な資金を融資することを目的とし制定されたもので、資金の融資範囲は次のとおりです。

一、家畜
イ 仔牛 生後一年以内のもの
ロ 子豚 生後六十日以内のもの

ハ 緋羊 生後六十日以内のもの
ニ 採卵鶏雛 生後百二十日以内のもの

二、施設資金
前号の家畜飼養に必要な施設の改良、造成又は取得に要する資金。

また、資金の融資は家畜購入資金、施設資金の各八割以内とし、一戸当りの融資の限度額は五十万円、融資の条件は次のとおりです。

融資の種類	償還期間	利率
家畜購入資金 (仔豚、細羊、採卵鶏雛)	二年以内	日歩
家畜購入資金 (仔牛)	三年以内	二銭以内
施設資金	三年以内	以内

▼利尻町漁業振興促進条例案
この条例は、十トン以上の漁船を使用して漁業を営業者が漁船を購入するため必要な資金を漁業協同組合から融通を受けた場合に、毎年度予算の範囲内において、その資金の利子の一部を補給し、漁業経営の振興を促進し、もって漁業生産力の増強に資するとともに漁家経済の安定向上を図ることを目的として設置されたもので、漁業協同組合が融通する当該資金の利率は年一割以内で、町が補給する利子補給率は年二分、補給期間は八年以内です。

▼利尻町課設置条例の一部を改正する条例案
分掌事務の合理化と能率の増進を図るため、これまでの経済建設課を産業課と建設課に分離した。

昭和四十二年 各会計決算認定される

去る三月二十日開会の定例第一回町議会において、先に特別委員会へ付託されていた昭和四十二年度各会計決算が原案どおり認定されました。

会計別決算の状況 (単位 千円)

会計別	才入	才出	差引
一般会計	258,363	249,613	8,750
特別会計			
清掃事業	2,894	4,610	△ 1,716
国民健康保険事業	38,822	41,012	△ 2,190
歯科診療施設	4,342	10,535	△ 6,193
企業会計			
国民健康保険事業	69,099	70,975	△ 1,876
国民健康保険事業	47,399	43,006	4,393
合計	420,919	419,751	1,168

町の執務時間変更

四月一日から十月三十一日まで町関係機関の執務時間を次のとおり変更しました。

- 平日 午前8時30分から午後5時まで
- 土曜日 午前8時30分から正午まで

総務係



昭和44年度町内公共事業一覧

(注) ・国及び道 —— 事業の実施内示があったもののみ

・町 —— 当初予算に計上されたもののみ

区 分	事 業 名	事 業 内 容	事 業 主 体	
港 漁 災	湾 港 害	沓形港修築工事 仙法志漁港修築工事 新湊漁港修築工事 蘭泊漁港修築工事 御崎漁港災害工事	防波堤50m 浚渫 消波工98m 船揚場30m 西防波堤18m 船揚場30m 物揚場52m 胸壁29.8m 公共災害工事道・災害	国 国 道 道 道
治	山	町内各治山工事	スサントマリ沢(神磯)床固工 1 根上り沢(久連)床固工 2 元村沢予防 2 柴浜防風林(新林) 400m 神磯保安林改良 5ha	道 道 道 道 道
道	路	道々利尻島線改良 道々利尻島線舗装 道々利尻島線改良 道々利尻島線舗装 道々仙法志港線舗装 道々利尻島線橋梁	泉町～神居(高校) 1.400m 沓形本町～泉町 660m 蘭泊支障物件移転 神磯～長浜 1.240m 仙法志～神磯 580m 神磯橋(永久橋)	道 道 道 道 道 道
		町道改良工事 町道舗装工事 町道側溝工事 町道側溝工事 町道維持補修工事	仙法志鬼脇線 230m 沓形市街 220m 泉町南畑6線ほか4線 美也吉呂北浜3線 町内一円	町 町 町 町 町
水	産	日出町仮舟揚場工事 沓形港船揚場工事 あわび移殖事業 改良底建網事業 青年部試験調査事業 のり漁場造成試験事業 とど駆除対策事業	日ノ出町地先海岸 斜路 14m 仙漁協 15,000粒 仙漁 1ヶ統 沓漁 1ヶ統 仙漁協 仙漁協	町 町 町 町 町 町 町
農	林	畜産振興事業 林道開設工事 造林事業 竹の子道路整備事業	家畜導入資金 200万円 日出町林道 巾員4m 延長1.460m 町有線 2ha 民有林5ha 沓形 5本 仙法志 3本	町 町 町 町
商 観	工 光	商工業振興事業 商工業振興事業 観光施設整備事業 観光施設整備事業	中小企業融資 200万円 商工会育成 70万円 御崎公園々地造成 案内所の整備	町 町 道 町
文	教	沓形小学校改築事業 小中学校営繕工事	校舎及び屋体改築事業 (校舎860㎡) (屋体567㎡) 町内小中学校営繕工事	町 町
消	防	消防施設整備	ホース30本購入 貯水池防止柵	町
そ の 他		清掃車洗車場工事 有線放送電話施設改修 除雪事業	清掃車洗場の設置 アース引込線の取替 町内除雪費	町 町 町

建設課新設される

職員の人事異動発令

町では、四月一日付で、これまでの経済建設課を分離し、建設課を新設するとともに、職員の人事異動を行いました。

比較的に大きな異動のため、なれるまでの間ご不便をかけることがあるかも知れませんが、町民皆様のご協力をお願いします。

なお異動後の事務分掌は、次のとおりです。() 書は前職

- ▼産業課長小島光男(経済建設課長)
- ▼建設課長兼建築係長板谷静夫
- ▼採石事業所長糸谷克明(総務課財政係長)
- ▼総務課財政係長五十嵐国夫(税務課徴収係長)
- ▼税務課徴収係長笹原喜一(民生課国保衛生係長)
- ▼民生課国保衛生係長大島正治(経済建設課水産係長)
- ▼産業課水産係長安田太郎(採石事業所長事務取扱)
- ▼建設課土木係長富樫昇(経済建設課建設係)
- ▼利尻町国民健康保険仙法志診療所

道楽一家



- ▼節子(保育)
- ▼国保病院勤務成田ひとみ(新採用)
- ▼仙法志保育所勤務工藤茂子(新採用)
- ▼総務課財政係安田由美子(新採用)
- ▼教

新入学(園)児童を

交通事故から守ろう

入学期を迎え、喜びに胸ふくらませて新一年生や保育園児の登校(園)が始まりました。

ところで、一歩外へ出ればこのかわいい子どもたちにも交通事故の災いがかかるやなく襲ってき

昨年、四月中に道内では二百八十六名の児童、園児が自動車にはねられ、死んだりけがをしたりしました。また、交通のルールを知らないこともが入学(園)で行動範囲の広がることが事故多発の原因となっています。

子どもたちに、交通の知識を教え、通学、通園はもちろん、遊びに出る際も事故にあわないよう注

- 育委員会勤務成田江里(新採用)
- 国保病院勤務新浜美鈴(新採用)
- 総務課総務係角脇恭子(新採用)

意してやりましょう。

◇子どもといつしよに◇

◇子どもといつしよに交通の知識を教えるときは、話して聞かせるより、ことごとくいっしょに通学路を歩き途中で実際に注意することを教えましょう。通学路は、たとえ遠まわりになっても交通量の少ない道を選びます。

◇教えておきたい

- ・道路では必ず歩道を歩く。
- ・歩道、車道の区別がないところでは必ず道路の右側端を歩く。
- ・道路を横断するときは、左右の安全を確かめる。
- ・駐車中の車の前後から急に道路へ出ない。
- ・道路で遊ばない。

◇忘れものを

◇させないように◇

登校中に、忘れものを思い出し、家へ帰る途中、事故にあうことが多いものです。忘れものをしたときは、あわてて引き返さないように教えましょう。また毎朝忘れものがないか調べる習慣をつけましょう。

◇できるだけ身軽に◇

カバンのほかに工作道具など、たくさん持物を持っていると車が来ても身軽な動作がとれず危険です。持物はできるだけ少なくしてやりましょう。

○利尻町交通安全運動推進協議会

○稚内警察署警備警察官派出所

修学旅行生に対する

銭別は生徒の身になつて 止めて下さい

この地域では修学旅行生に対して銭別を渡す習慣がありますが、それは生徒にとって旅行中土産を買って帰らなければならぬということ、非常に心の負担になり、そのことに心を使い折角楽しい旅行も興味半減することは明らかです。

銭別をやめ、旅行中ゆつくりと楽しく旅行をしてみようよう、心を使ってやるのが如何に大事なことであるかを知っていただきたいと思ひます。

生徒の身になって隣近所申し合わせ、銭別を渡さぬようお願い致します。

(道立利尻高等学校より)

発行

昭和44年4月20日

発行者 利尻町役場
編集 総務課企画係
印刷 利礼資材KK